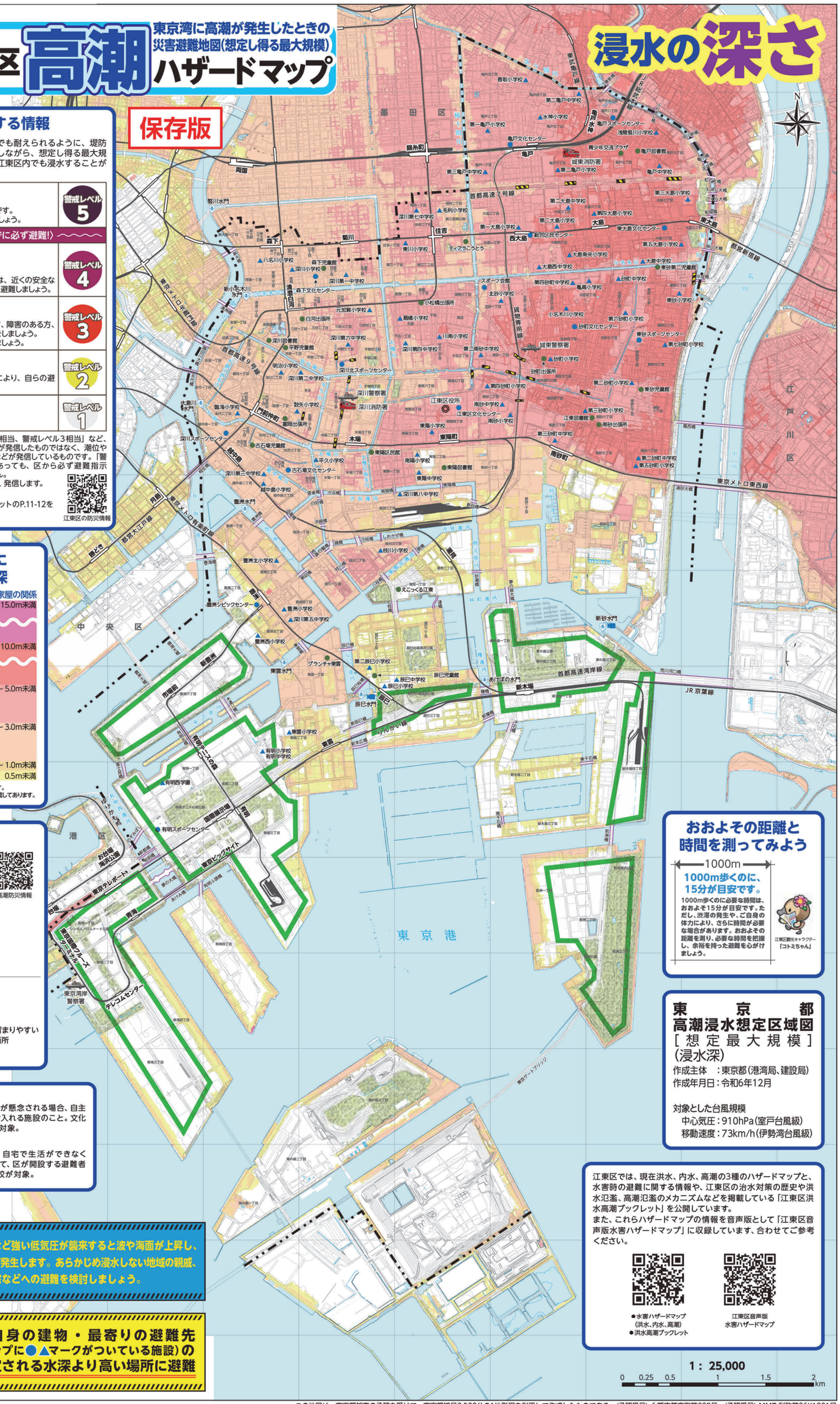
江東区 高潮ハザードマップ

東京湾に高潮が発生したときの災害避難地図(想定し得る最大規模)

保存版

浸水の深さ



避難に関する情報

江東区は、伊勢湾台風級の高潮でも耐えられるように、堤防と水門を整備しています。しかしながら、想定し得る最大規模の高潮が発生した場合には、江東区内でも浸水することが想定されています。

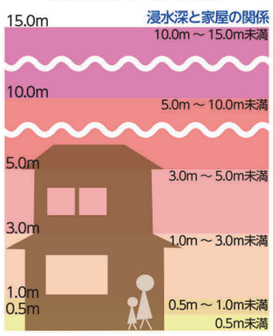
緊急安全確保 災害が発生又は切迫している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	警戒レベル5
〈警戒レベル4までに必ず避難!〉	
避難指示 速やかに避難先へ避難しましょう。 避難場所までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	警戒レベル4
高齢者等避難 避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児など）とその支援者は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	警戒レベル3
大雨・洪水・高潮注意報 避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	警戒レベル2
早期注意情報 災害への心構えを高めましょう。	警戒レベル1

※「警戒レベル5相当、警戒レベル4相当、警戒レベル3相当」など、この「相当」が付く情報は江東区が発信したものではなく、潮位や警報の情報をもとに国・マスコミなどが発信しているものです。「警戒レベル○相当」という表現があっても、区から必ず避難指示などを発表するわけではありません。
雨や潮位の情報を総合的に判断し、発信します。

※詳細は、江東区洪水高潮ブックレットのP.11-12をご覧ください。

江東区の防災情報

浸水した場合に想定される水深



※色覚障害のある人へ配慮した配色としています。
※色合いを変えたものを江東区ホームページに掲載してあります。

凡例（高潮）

- カメラ設置箇所
- 水位観測所
- 主な公共施設

高潮防災情報

■避難先

- 自主避難施設
- 拠点避難所（・地盤が高い ・浸水しない区域 ・公園・広場がある）

■水害時、特に危険となる箇所

- アンダーパス

アンダーパスとは
周辺より低く水が溜まりやすいため注意が必要な箇所

おおよその距離と時間を測ってみよう

1000m

1000m歩くのに、15分が目安です。

1000m歩くのに必要な時間は、おおよそ15分が目安です。ただし、渋滞の発生や、ご自身の体力により、さらに時間が必要な場合があります。おおよその距離を測り、必要な時間を把握し、余裕を持った避難を心がけましょう。

江東区観光キャラクター「コトミちゃん」

東京都 高潮浸水想定区域図［想定最大規模］(浸水深)

作成主体　：東京都(港湾局、建設局)
作成年月日：令和6年12月

対象とした台風規模
中心気圧：910hPa(室戸台風級)
移動速度：73km/h(伊勢湾台風級)

●自主避難施設とは
台風などの水害時に住宅の浸水が懸念される場合、自主的な避難を希望する区民を受け入れる施設のこと。文化センター・スポーツセンター等が対象。

●拠点避難所とは
地震や水害などの災害により、自宅で生活ができなくなった地域住民の生活の場として、区が開設する避難者受入施設のこと。区立小・中学校が対象。

江東区では、現在洪水、内水、高潮の3種のハザードマップと、水害時の避難に関する情報や、江東区の治水対策の歴史や洪水氾濫、高潮氾濫のメカニズムなどを掲載している「江東区洪水高潮ブックレット」を公開しています。
また、これらハザードマップの情報を音声版として「江東区音声版水害ハザードマップ」に収録しています、合わせてご参考ください。

●水害ハザードマップ（洪水、内水、高潮）
●洪水高潮ブックレット

江東区音声版水害ハザードマップ

命を守るために早めの避難を検討!
広域避難
台風など強い低気圧が襲来すると波や海面が上昇し、高潮が発生します。あらかじめ浸水しない地域の親戚、知人宅などへの避難を検討しましょう。

命を守る緊急手段
垂直避難
ご自身の建物・最寄りの避難先（マップに●▲マークがついている施設）の想定される水深より高い場所に避難

1：25,000
0　0.25　0.5　1　1.5　2 km

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。（承認番号）６都市基交測第205号、（承認番号）MMT 利許第06K1081号